

家庭の教育力の向上について(検討項目)

資料2-1

各論

項目	主な検討のポイント	
①きめ細やかな家庭教育の支援 (子育てに関心の低い親、孤立しがちな親等も含め、きめ細やかな家庭教育の支援を行うためにはどのような方策が効果的か。)	(1) 子育てに関心の低い親、孤立しがちな親等に対する効果的なアプローチの手法としてどのようなことが考えられるか。 (2) 仕事と子育ての両立支援など企業の取組を促進するにはどうすればよいか。 (3) 子どもの発達段階に応じた教育の重要性和教育内容の理解を推進するにはどうすればよいか。 (4) 子育ての様々なノウハウ等を有する幼稚園を効果的に活用するにはどうすればよいか。 (5) 家庭の教育力を向上させるためには、親を支援の受け手とするのではなく、自立の支援につなげる必要があるが、そのためにはどうすればよいか。 (6) 文部科学省の家庭教育支援の施策と厚生労働省の子育て支援の施策の一層の連携を推進するにはどうすればよいか。	1 9
②子育ての楽しさや達成感の実感 (子育ては大変だが、楽しさや達成感を実感するにはどのような方策が効果的か。)	(7) 幼稚園を効果的に活用するにはどうすればよいか。 (8) 将来の親世代が子育てを楽しいこと、達成感のあることと実感しうするにはどうすればよいか。 (9) 将来の親世代や子育て中の親に限らず、子育てを楽しみ、子育てを応援する社会(環境)づくりを行うためにはどうすればよいか。	10 10 13
③子どもの生活リズムの向上 (子どもの生活リズムを向上させるためにはどのような方策が効果的か。)	(10) 平成18年度から「子どもの生活リズム向上プロジェクト」の事業を核にして、子どもの生活リズムを向上させるため、PTA等と連携し、「早寝早起き朝ごはん」運動を国民運動として展開することとしているが、さらにどのような充実策が考えられるか。 (11) 家庭におけるテレビメディアの教育力の活用についてどのように捉え、また、ITについて、影の部分への対応をどうすればよいか。	14 15
④父親の家庭教育への参加の促進 (父親の家庭教育への参加を促進するにはどのような方策が効果的か。)	(12) 父親に対する普及啓発をどのように行えばよいか。 (13) 仕事と子育ての両立支援など企業の取組を促進するにはどうすればよいか。	16 17
⑤地域ぐるみの支援 (地域ぐるみで家庭教育を支援するにはどのような方策が効果的か。)	(14) 団塊の世代、高齢者、子育て経験者等をうまく子育ての支援に取り込むためにはどうすればよいか。 (15) 行政と子育て支援団体等(NPO含む)とが連携した家庭教育支援を行うにはどうすればよいか。	18 19